

歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL.

6



重要文化財

木造 二天王立像

平安時代／天野山金剛寺蔵

力強くてカッコいい持国天！真似してみたけどこの貴様はなかなか出せないな～



仏像ZOOM UP! +

目は、くりぬいた裏から水晶をあてて作られており、下図のような構造となっている。このような技法を玉眼といい、平安時代に始まり鎌倉時代に流行し、リアリティのある仏像が多く作られた。



ある分野で秀でた人が4人いた場合「〇〇四天王」と呼ぶ場合があります

が、四天王とは本来、持国天、増長天、広目天、多聞天を指します。この四天王は、仏を守護する護法神で、甲冑をつけた武人の姿をして憤怒形の姿で現されています。このうち、金剛寺の楼門に正面向きに安置されるのは、持国天(写真①)、増長天(写真②)の二天です。平成3年から5年にかけて行われた解体修理に際して像内から発見された墨書銘により、弘安2年(1279)、大仏師法橋正快らにより造立されたことが判明しました。像高は持国天が271.5㍍、増長天が271.9㍍あります。邪鬼を踏みつける足元や迫力ある甲冑姿など実物をぜひご覧ください。

天王像が安置される立派な楼門も重要文化財。境内の清浄な空間を守ってくれているんですね。



今月の歴女

桃田幸子さん

大晦日の除夜の鐘はいつもここでついていました。幼い頃からの思い出がたくさん詰まったお寺で撮影ができて嬉しいです。寺巡りが好きな両親と色んなお寺を訪ねましたがやっぱりここが大好きです。



河内長野駅からバスで「天野山」下車▶入山料：大人200円、小人(中学生以下)100円▶午前9時～午後4時30分※境内の金堂と多宝塔は、現在修復工事中です。

仏像まめ知識 ⑥ 印について

仏像は、手の形で様々な意味を表現しており、これを印相といいます。印相は、仏像の種類を見分ける手がかりともなります。代表的な印相としては、釈迦如来の「施無畏印」と「与願印」、金剛界大日如来の「智拳印」と胎藏界大日如来の「法界定印」、阿弥陀如来の「阿弥陀定印」などがあります。



発行／河内長野市 編集／市長公室広報広聴課 発行日／平成25年9月1日
市役所 〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
☎0721-53-1111(代) FAX 56-1761 ☎54-1000(留守番電話)



広報かわちながの

平成25年(2013年)9月号(No.1079)

ホームページ <http://www.city.kawachinagano.lg.jp> Eメール info-kw@city.kawachinagano.lg.jp
お知らせ電話で休日急病診療所の日程などを24時間案内 ☎0120-930-073
市役所開庁日時／月～金曜日午前9時～午後5時30分(土・日・祝休日、年末年始を除く)